

お客さま本位の業務運営の取組状況

2023年6月26日

結城信用金庫

当金庫では、2018年3月に「お客さま本位の業務運営にかかる基本方針」を策定・公表し、お客さまの最善の利益の追求と家計の長期・安定的な資産形成のサポートに取り組んでおります。

今般、2023年3月末時点の取組状況(成果指標:KPI)を公表いたします。今後も定期的に公表するとともに、随時、取組内容を見直してまいります。

1. 当金庫独自の成果指標について

(1)お客さまの最善の利益を追求することを最優先に、お客さま本位の業務運営を徹底してまいります。(金融庁の原則2)

◎取組状況

- ・お客さまの長期的な資産形成に資するため、様々な資産への投資が可能になるようラインナップの充実を図っております。今後も、定期的にラインナップの見直しを行ってまいります。
- ・お客様の資産形成に適した1年決算型のファンドは、ラインナップの内8ファンド、つみたてNISA専用商品として4ファンドを取扱っております。

○投資信託取扱商品数

《投資対象別》

	債券	REIT	株式	バランス
国内	1	2	3	0
国内外	1	1	3	3
海外	4	1	2	0
合計	6	4	8	3

《決算頻度別》

年1回	年2回	四半期	毎月	合計
8	2	2	9	21

《つみたてNISA専用商品》

国内株式	海外株式	バランス	合計
2	1	1	4

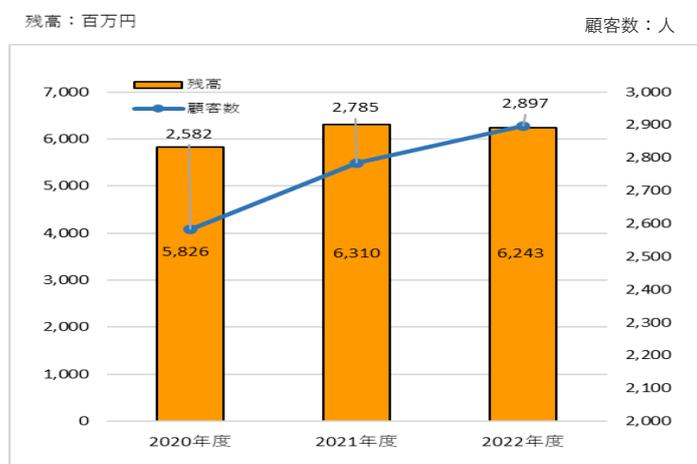
(2)お客さまの家計の長期・安定的な資産形成に適う商品・サービスの充実に努めてまいります。(金融庁の原則6)

◎取組状況

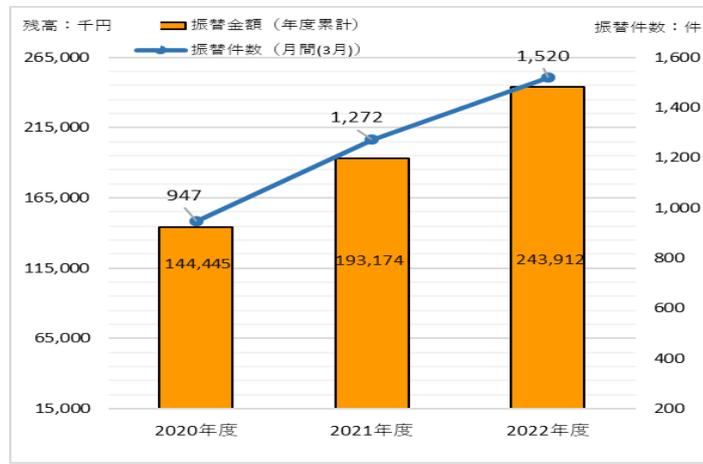
- ・当金庫は、投資信託をお客さまの長期・安定的な資産形成に適う商品と位置づけ、預かり資産残高や定時定額取引件数を重視した営業活動を展開しております。なお、お客さまの投資信託平均保有年数(*)は7.1年(前年度は7.7年)となっております。
- ・2023年3月末現在、前年度対比で顧客数は112先増加、投資信託残高は67百万円減少しました。このうち、定時定額取引は年間振替件数が248先増加、振替金額は51百万円増加しております。
- ・2023年度投資信託販売に占める積立投資の比率は17.1%となりました。

* 平均保有年数は(前年度末残高+当年度末残高)÷2÷(年間の解約額+償還額)で算出しております。

○投資信託残高および顧客数の推移



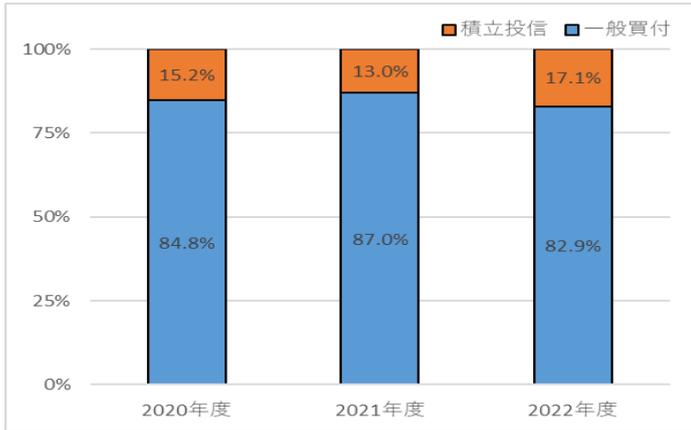
○定時定額振替件数および振替額の推移



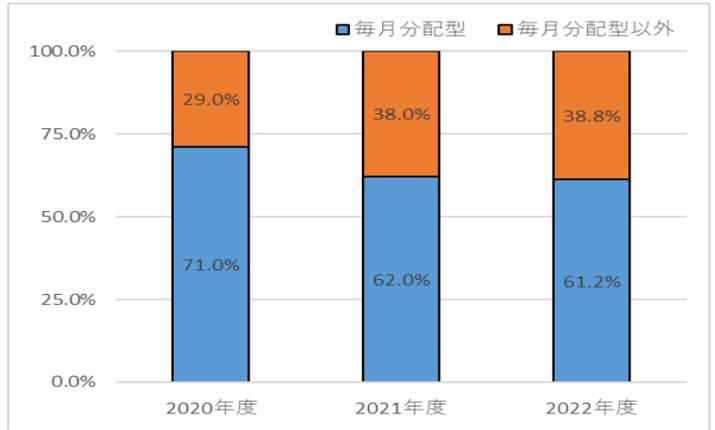
○NISAの利用状況

	2020年	2021年	2022年
NISA口座数	961	1,103	1,235
NISA利用口座数	349	419	465
NISA利用額(千円)	155,688	199,978	220,367
(内つみたてNISA)	16,139	25,362	12,139
NISA口座利用率	36.3%	38.0%	37.7%

○販売に占める積立投資の割合



○投資信託販売に占める毎月分配型の販売比率



(3)お客さまに寄り添ったアフターフォローを実施してまいります。(金融庁の原則6)

◎取組状況

- ・当金庫の経営方針「小口先数主義」に徹し、投資信託をご契約いただいているお客さまに定期的なアフターフォローを実施しております。
- ・アフターフォローにあたっては、全取引顧客の中から一定の条件のお客さまをアフターフォロー先とし、定期的なアフターフォローを行っております。また、市場が大きく変動した際等には、特別にアフターフォローを実施しております。

フォロー対象延べ先数	フォロー実施延べ先数
6,920	6,920

(4)お客さまの立場に立って適切な情報をわかりやすく説明してまいります。(金融庁の原則5)

◎取組状況

- ・投資信託の販売にあたり、各種パンフレット等を用いてメリット・デメリットについてわかりやすい説明に努めております。
- ・お客さまの理解を深めていただくため、ウェルズアドバイザー社が提供するアプリ「Wealth Advisor (ウェルズアドバイザー)」を利用しております。
- ・お客さまへの情報提供の一環として、外部講師を招き定期的に資産運用セミナーを開催してまいります。

○タブレットアプリの画面



○資産運用セミナー



(5) 手数料等の重要情報を、お客さまへ丁寧にわかりやすく説明してまいります。(金融庁の原則4)

◎取組状況

- ・投資信託の販売にあたっては、お客さまに負担していただく手数料について、わかりやすい説明に努めております。
- ・説明にあたっては、「パンフレット」や「購入時手数料に関するご説明」等を使用して説明を行っております。

○購入時手数料に関するご説明



○商品ラインナップ

(6) お客さまの利益が不当に害されることがないように、お客さまとの利益相反管理を適切に実施してまいります。(金融庁の原則3)

◎取組状況

- ・お客様への提案にあたっては、一部の特定な資産運用会社等に偏った商品の提案とならないよう努めてまいります。
- ・当金庫では「利益相反管理方針」をホームページなどで開示し、内部規程に基づいて管理を徹底しております。

○当金庫取扱ファンドの運用会社別集計

投信会社	取扱ファンド数	積立NISA専用
しんきんアセットマネジメント投信	7	0
アセットマネジメントOne	5	4
三井住友DSアセットマネジメント	4	0
ニッセイアセットマネジメント	3	0
三菱UFJ国際投信	2	0

(7) お客さま本位の業務運営を徹底するための人材育成や態勢整備に努めてまいります。(金融庁の原則7)

◎取組状況

- ・当金庫ではお客さま本位の業務運営を徹底するためFP資格の取得を奨励しており、2023年3月末現在、前年度対比で3名有資格者が増加しております。職員の提案力向上のため2022年度は合計13回の社内研修を実施し、延べ397名の職員が受講しております。【2021年度は、コロナ禍から外部講師による研修を人数制限により、開催回数を(4回→8回)増やしての実施】
- ・当金庫では、「預かり資産残高」や「定時定額取引件数」を業績評価に反映する等、お客さま本位の業務運営を徹底するため適正な業績評価制度の整備に取り組んでおります。

○FP保有者数

資格	2020年度	2021年度	2022年度
FP1級	2名	2名	3名
FP2級	45名	48名	50名

○預かり資産関連内部研修

	2020年度	2021年度	2022年度
開催回数	7回	17回	13回
受講者合計数	85名	391名	397名

2. 金融機関共通の成果指標について

(1) 投資信託の運用損益別お客さま比率の状況

◎状況

・お客さまの損益状況は、受取配当金を含む運用損益がプラスとなっているお客さまが全体の71.1%となりました。
 ・2022年度は、資源価格の上昇による世界的なインフレ傾向や、日本銀行が長期金利の変動許容幅を拡大したことなどにより、市場の金利が上昇しました。その結果、国内不動産の市況が悪化し、J-REITに投資する投資信託の基準価格も下落したことから、前年度対比で損益がプラスとなっているお客さまの割合は、前年度末と比べ13.2%低下しました。

【2021年3月】

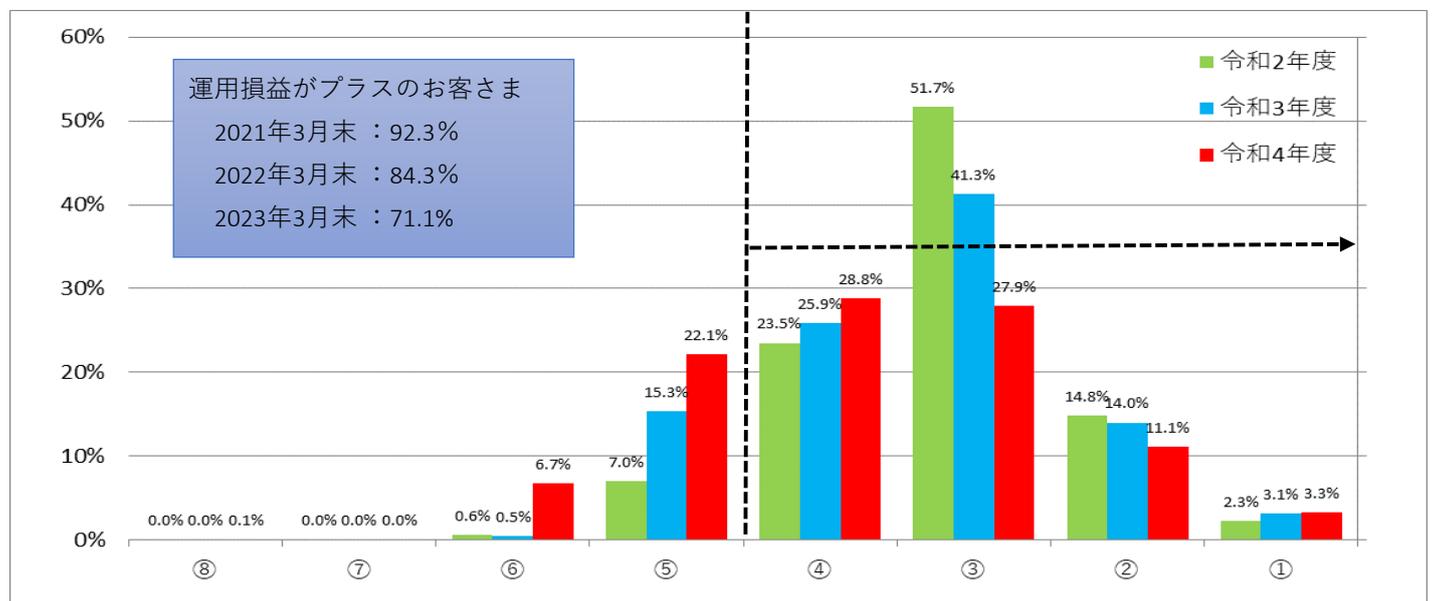
区分	運用損益	顧客数	割合
①	+50%以上	60	2.3%
②	+30%以上+50%未満	381	14.8%
③	+10%以上+30%未満	1336	51.7%
④	0%以上+10%未満	607	23.5%
⑤	-10%以上0%未満	180	7.0%
⑥	-30%以上-10%未満	16	0.6%
⑦	-50%以上-30%未満	1	0.0%
⑧	-50%未満	1	0.0%
		2,582	100%

【2022年3月】

区分	運用損益	顧客数	割合
①	+50%以上	85	3.1%
②	+30%以上+50%未満	390	14.0%
③	+10%以上+30%未満	1,149	41.3%
④	0%以上+10%未満	720	25.9%
⑤	-10%以上0%未満	425	15.3%
⑥	-30%以上-10%未満	14	0.5%
⑦	-50%以上-30%未満	1	0.0%
⑧	-50%未満	1	0.0%
		2,785	100%

【2023年3月】

区分	運用損益	顧客数	割合
①	+50%以上	95	3.3%
②	+30%以上+50%未満	323	11.1%
③	+10%以上+30%未満	808	27.9%
④	0%以上+10%未満	834	28.8%
⑤	-10%以上0%未満	641	22.1%
⑥	-30%以上-10%未満	193	6.7%
⑦	-50%以上-30%未満	0	0.0%
⑧	-50%未満	3	0.1%
		2,897	100%



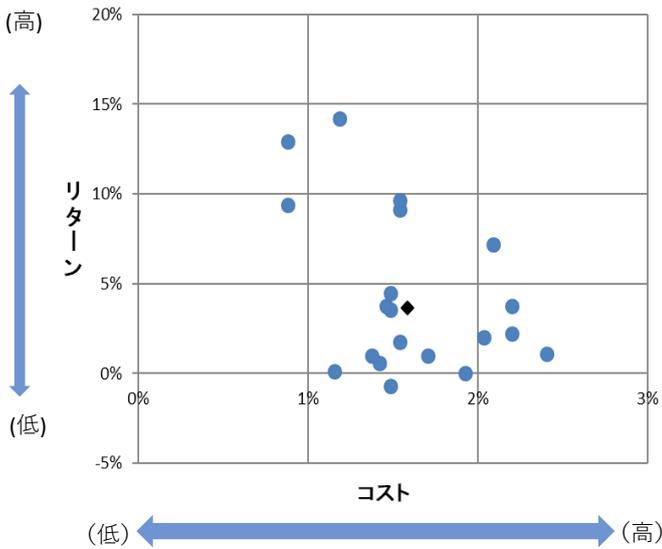
(2) 投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン(設定後5年以上)

◎状況

- ・投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク、リターン、コストの平均値は、リターンが4.15%、リスクが13.27%、コストが1.59%となっております。
- ・残高上位20銘柄に変動はなかったことから、コストの平均値はほぼ変わりませんでした。
- ・リスクの平均値は、比較的市場変動が少ない相場が続き、大きな変化はありませんでした。リターンは、前年度4.82%から0.67%減少し4.15%となりました。
- ・今後も、商品ラインナップの充実を図るとともに、お客さま一人ひとりの「コスト負担」や「リスク許容度」、「期待されるリターン」に合わせた商品提案に努めてまいります。

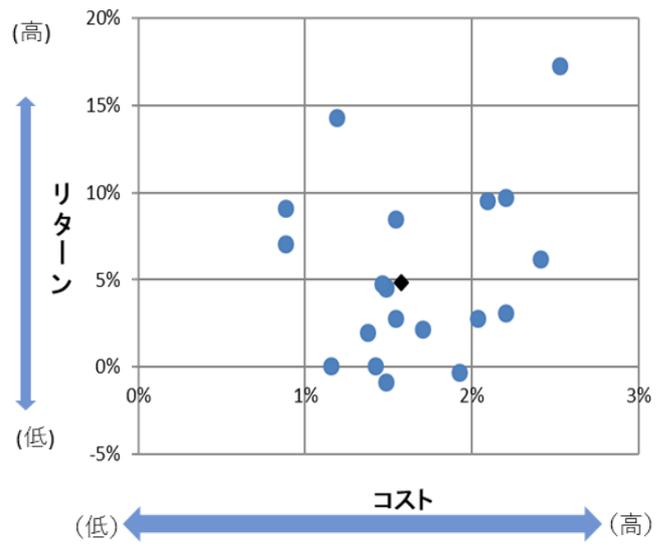
○投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

【2021年3月】



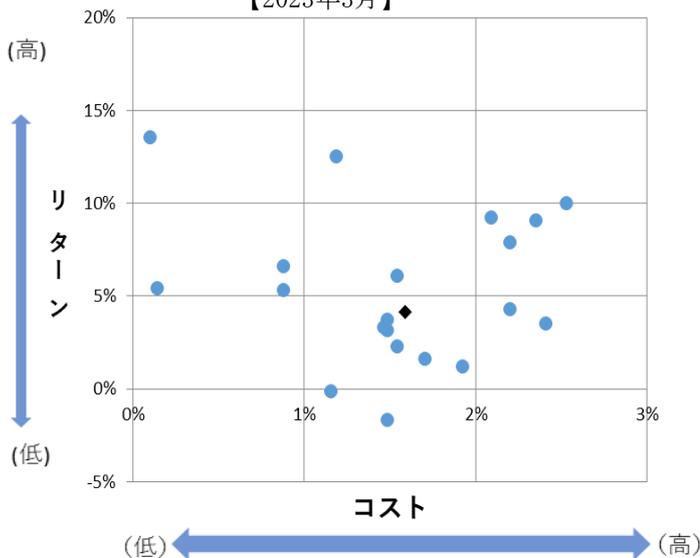
残高加重平均値 (◆)	コスト	リターン
	1.59%	3.63%

【2022年3月】



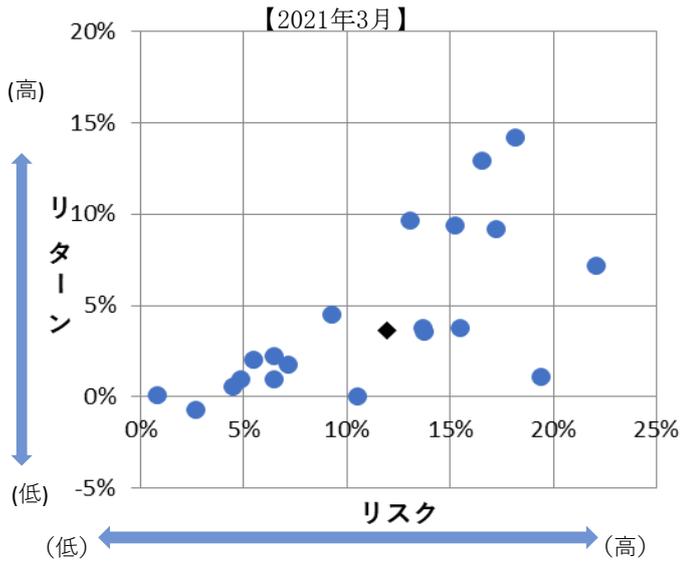
残高加重平均値 (◆)	コスト	リターン
	1.58%	4.82%

【2023年3月】

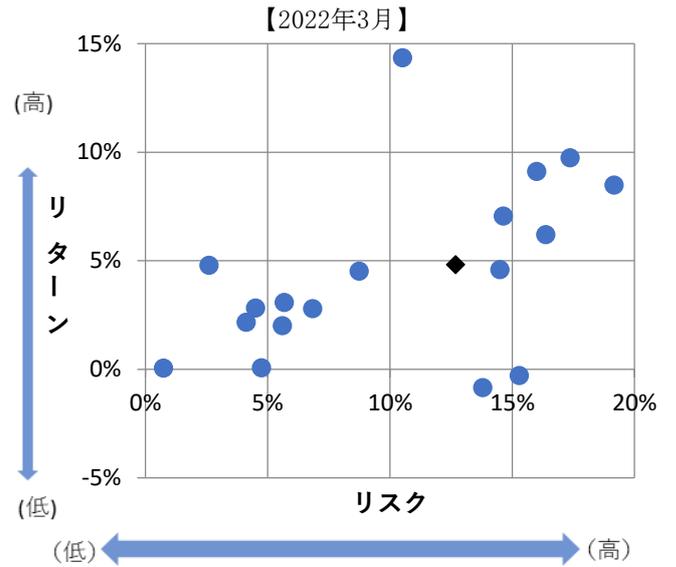


残高加重平均値 (◆)	コスト	リターン
	1.59%	4.15%

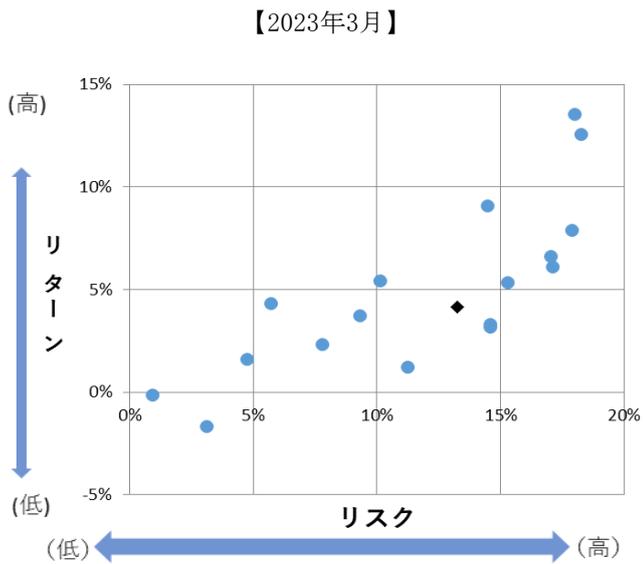
○投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値 (◆)	リスク	リターン
	11.95%	3.63%



残高加重平均値 (◆)	リスク	リターン
	12.68%	4.82%



残高加重平均値 (◆)	リスク	リターン
	13.27%	4.15%

○投資信託預かり残高上位20銘柄の個別明細

【2021年3月】

順位	銘柄名	リスク	コスト	リターン
①	しんきんリートオープン(毎月決算型)	13.73%	1.49%	3.55%
②	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	9.29%	1.49%	4.49%
③	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	6.49%	2.20%	2.23%
④	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	7.13%	1.54%	1.76%
⑤	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	22.05%	2.09%	7.17%
⑥	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	4.86%	1.71%	0.97%
⑦	ニッセイ日本インカムオープン	0.78%	1.16%	0.13%
⑧	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	17.22%	1.54%	9.15%
⑨	しんきん世界アロケーションファンド	2.67%	1.49%	-0.72%
⑩	三井住友・グローバル・リート・オープン	19.43%	2.41%	1.11%
⑪	しんきんインデックスファンド225	16.54%	0.88%	12.90%
⑫	しんきんリートオープン(1年決算型)	13.69%	1.46%	3.75%
⑬	DIAM高格付外債ファンド	10.54%	1.93%	0.01%
⑭	新光US-REITオープン(年1回決算型)	15.51%	2.20%	3.74%
⑮	しんきんJPX日経400オープン	15.24%	0.88%	9.39%
⑯	コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	4.49%	1.42%	0.58%
⑰	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	18.14%	1.19%	14.21%
⑱	ピムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Dコース(為替ヘッジなし)	5.50%	2.04%	2.01%
⑲	三井住友・ヨーロッパ国債ファンド	6.45%	1.38%	0.99%
⑳	日経225リスクコントロールオープン	13.04%	1.54%	9.65%
残高加重平均値(◆)		11.95%	1.59%	3.63%

【2022年3月】

順位	銘柄名	リスク	コスト	リターン
①	しんきんリートオープン(毎月決算型)	14.50%	1.49%	4.59%
②	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	8.74%	1.49%	4.51%
③	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	5.68%	2.20%	3.08%
④	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	21.33%	2.09%	9.54%
⑤	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	6.84%	1.54%	2.80%
⑥	しんきんインデックスファンド225	16.00%	0.88%	9.11%
⑦	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	4.11%	1.71%	2.16%
⑧	ニッセイ日本インカムオープン	0.73%	1.16%	0.05%
⑨	三井住友・グローバル・リート・オープン	16.37%	1.54%	6.20%
⑩	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	19.16%	2.41%	8.48%
⑪	しんきんリートオープン(1年決算型)	2.59%	1.49%	4.78%
⑫	しんきん世界アロケーションファンド	13.79%	1.46%	-0.85%
⑬	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	10.51%	1.93%	14.35%
⑭	DIAM高格付外債ファンド	15.28%	2.20%	-0.29%
⑮	新光US-REITオープン(年1回決算型)	17.36%	1.19%	9.74%
⑯	しんきんJPX日経400オープン	14.63%	0.88%	7.05%
⑰	ピムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Dコース(為替ヘッジなし)	4.50%	1.42%	2.83%
⑱	コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	4.75%	2.04%	0.07%
⑲	三井住友・ヨーロッパ国債ファンド	5.60%	1.38%	2.01%
⑳	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	12.59%	1.54%	17.26%
残高加重平均値(◆)		12.68%	1.58%	4.82%

【2023年3月】

順位	銘柄名	リスク	コスト	リターン
①	しんきんリートオープン(毎月決算型)	14.60%	1.49%	3.17%
②	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	9.31%	1.49%	3.74%
③	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	22.56%	2.09%	9.24%
④	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	5.72%	2.20%	4.31%
⑤	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	7.81%	1.54%	2.31%
⑥	ワールド・ビューティ・オープン(為替ヘッジなし)	14.48%	2.35%	9.09%
⑦	しんきんインデックスファンド225	17.04%	0.88%	6.60%
⑧	グローバル・ツブリン・オープン(毎月決算型)	4.75%	1.71%	1.60%
⑨	ニッセイ日本インカムオープン	0.92%	1.16%	-0.13%
⑩	しんきんリートオープン(1年決算型)	14.58%	1.46%	3.32%
⑪	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	17.12%	1.54%	6.11%
⑫	三井住友・グローバル・リート・オープン	20.68%	2.41%	3.52%
⑬	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	18.26%	1.19%	12.55%
⑭	しんきん世界アロケーションファンド	3.12%	1.49%	-1.65%
⑮	たわらノーロードバランス(8資産均等型)	10.14%	0.14%	5.41%
⑯	DIAM高格付外債ファンド	11.25%	1.93%	1.20%
⑰	しんきんJPX日経400オープン	15.29%	0.88%	5.35%
⑱	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	20.40%	2.53%	10.03%
⑲	新光US-REITオープン(年1回決算型)	17.88%	2.20%	7.90%
⑳	たわらノーロード先進国株式	17.99%	0.10%	13.54%
残高加重平均値(◆)		13.27%	1.59%	4.15%